

自動車事故対策機構

千葉療護センター



設置

 独立行政法人 自動車事故対策機構

運営

 医療法人社団 誠馨会





ごあいさつ

自動車事故対策機構 千葉療護センターは、自動車事故による脳損傷で重症の神経症状を後遺した慢性期の患者さんを専門に治療する病院です。

入院した患者さんには、精密な神経学的診察と充実した診断機器による脳機能の評価を行い、残存する機能を改善させ、それらを組み合わせて最大限に能力を発揮できるような治療計画を立てます。このような患者さん一人ひとりに立てられた治療計画のもとに治療を行っています。

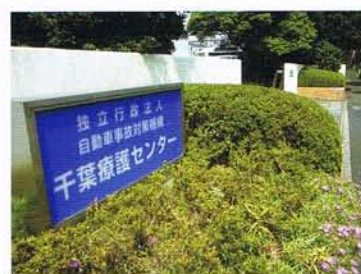
治療は日常生活の中で、声をかけたり、手を握ったり、車椅子に乗ったり、四季の変化を感じたりする五感への刺激を可能な限り多く脳に与えることで、患者さんの反応を引き出していくのが基本です。

それができる前提として、清潔な環境、十分な介護ケアによる身体安全の確保、詳細な観察による合併症の早期発見、いつでもすぐに検査・治療のできる医療体制が整っています。

スタッフ一同は、このような環境を整え、患者さんの能力が少しでも改善するように努力しています。

センター長／岡 信男

自動車事故による被害者の方への 援護を目指して



自動車事故による脳損傷または脊髄損傷によって、重度の後遺障害が残り、寝たきりの状態にある被害者を抱えた家庭のご家族の精神的、肉体的および経済的な苦しみは極めて大きなものがあります。

こうしたご家族の負担の軽減を図ることにより、被害者援護の充実を期すため、自動車事故対策センター（現：自動車事故対策機構）では、脳損傷者には昭和54年8月から、脊髄損傷者には昭和56年10月から介護料を支給してまいりました。

しかし、このような被害者を抱える家庭には、「病院側の都合で退院した」「介護のため家庭内の他のことがほとんどできない」「介護に疲れた」「家庭内がうまくいかない」などの事情を有することが明らかになってきました。また、家族による介護の困難さは、ひいては家庭崩壊につながる緊急問題として提起されました。

検討が行われた結果、こうした家庭問題を解

決するとともに、十分な治療と看護を行う施設を設置・運営することとし、昭和56年、第94国会に自動車事故対策センター法の一部を改正する法律案が提出され、同年6月、同法の一部改正が行われ、脳損傷による重度後遺障害者を治療・看護するための療護施設の設置・運営がセンター業務に追加されました。

一方、これに伴う予算も昭和56年度予算で認められ、昭和57年3月、千葉市磯辺に療護施設の建設用地を確保しました。昭和58年2月に建設工事を開始し、昭和59年2月、自動車事故対策センター附属千葉療護センターとして開設し、業務を開始しました。

その後、平成15年4月に運営を医療法人社団 誠馨会に委託しました。

平成17年4月には30床の増床病棟が開設され、80床となりました。

充実した医療機器・設備と、きめ細かな看護で、 効果をあげる治療・看護体制

千葉療護センターは、自動車事故による脳損傷で重度の神経症状が残った患者さんを受け入れて、適切な治療と看護を行う専門の病院です。充実した医療設備と入院環境、チーム医療体制を整えています。

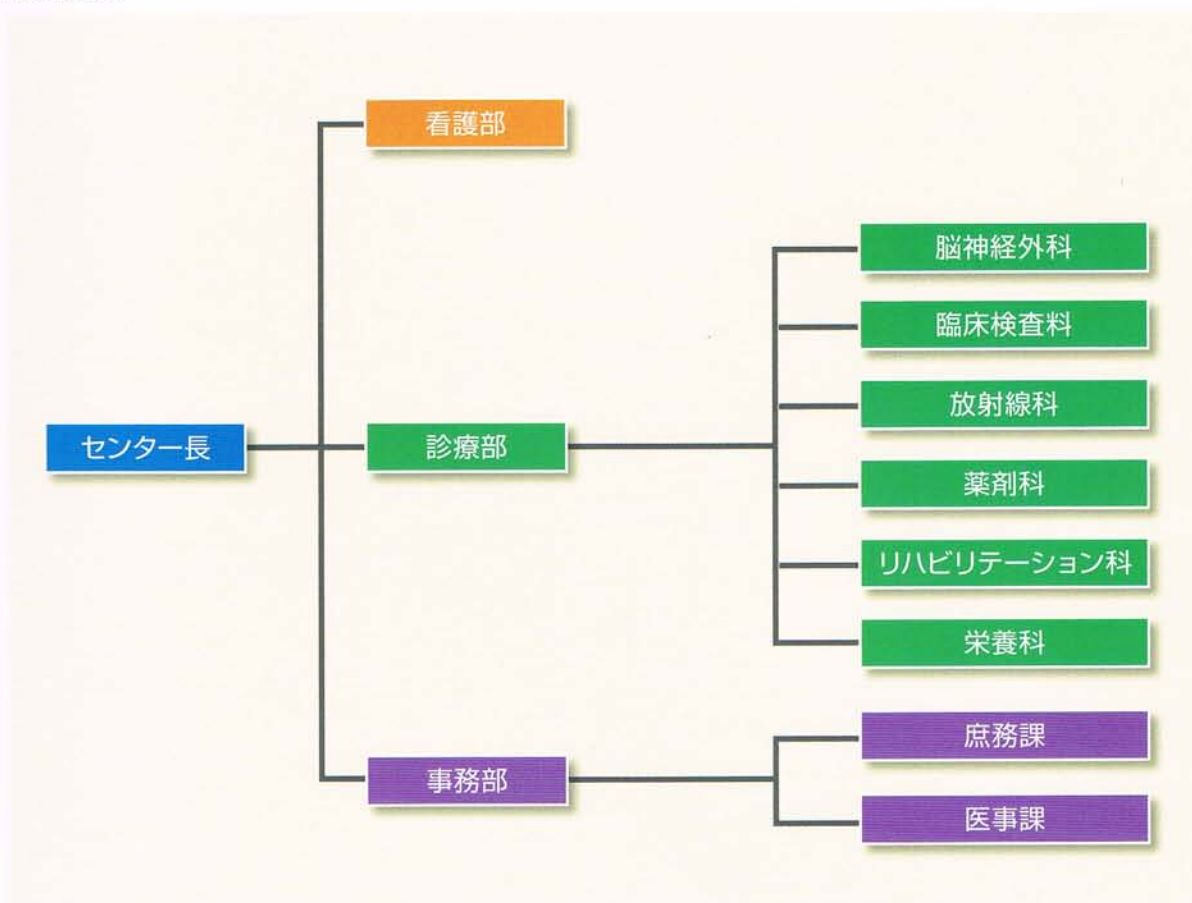
具体的には、

- 同じ看護師が一人の患者さんの入院から退院までを継続して受け持つプライマリナーシングを取り入れています。
- 病棟全体がワンフロアとなっており、周囲の大きな窓ガラスから自然光を取り入れた開放的な環境づくりをしています。季節や

一日の移り変わりを感じられるように、窓のそばにすべてのベッドを配置するとともに、散歩や外気浴などが気軽に行えるよう開口部が多くなっています。

- 患者さんに対してよりよい医療・看護を行うため、複数の専門職によるチーム医療体制で連携し、一人ひとりにあったかわりと定期的なカンファレンスにより共有した方針で臨みます。
- 入院申し込みから退院までソーシャルワーカーが、一貫して相談に応じています。

●組織図



声をかけ、手を添え、患者さんとふれあう看護



語らい
コミュニケーション



手浴
ケアの中のリハビリ



口腔ケアは大事な看護



ミーティング

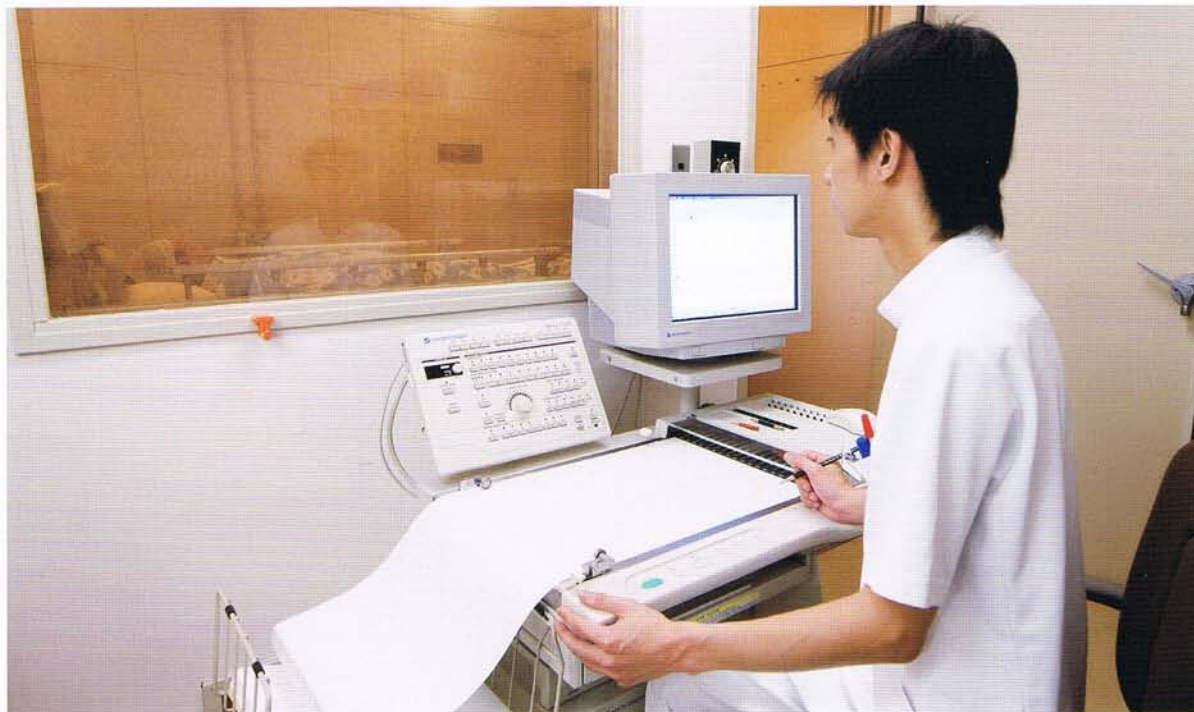


テラスで外気浴



入浴ケア

充実した医療機器による臨床検査



生理機能検査（脳波検査）



生化学・免疫検査（生化学検査）



血液・一般検査（血算）



顕微鏡検査（目視による血液像検査・尿沈渣検査）

安全で適切な薬の提供



調剤室



散薬鑑査システムの導入

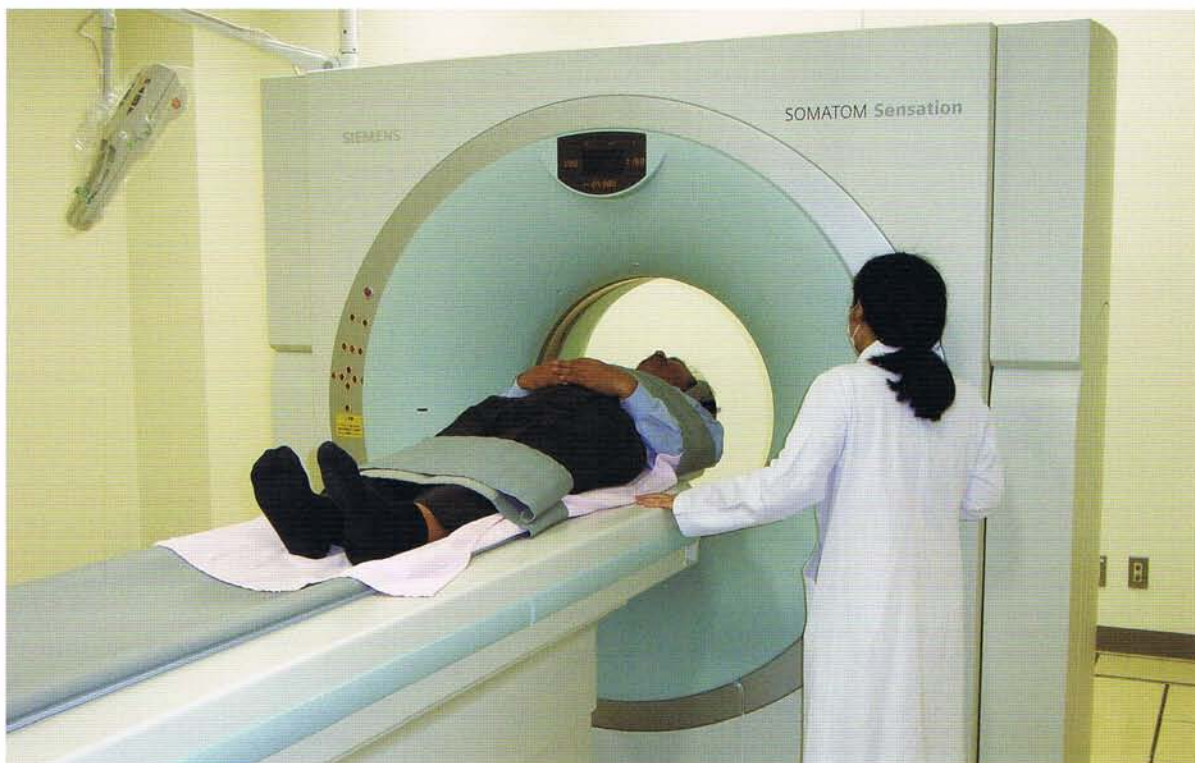


患者個人セットによる注射薬の払出し



薬剤払出し専用バスボックス

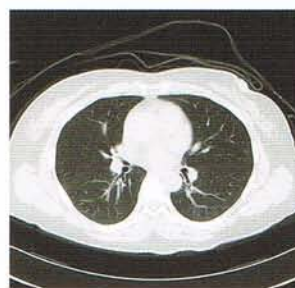
充実した画像診断機器による全身状態・ 残存機能の評価、地域医療への貢献



64列マルチスライスCT



CT操作室



胸部CT



PET/CT室



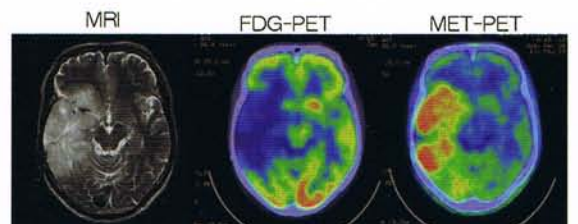
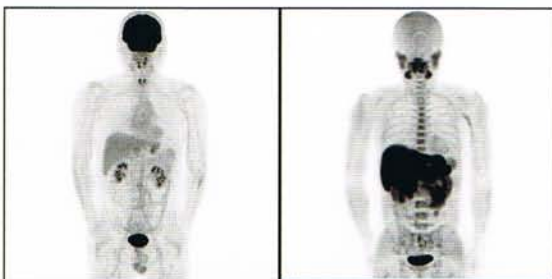
PET/CT操作室



ホットラボ

^{18}F -FDG正常像

^{11}C -MET正常像



生活すべてがリハビリテーション



座りましょう！（座位訓練）



理学療法（リハビリ室）



言語療法（ST室）



出かけましょう！（外出訓練）



食べましょう！（食事訓練）



作業療法（OT室）

お一人おひとりの食事を考えています



厨房全景



患者さんのお食事



配膳



食事指導（管理栄養士）

私たちスタッフもセンターを支えています



医療福祉相談（メディカルソーシャルワーカー・家族相談室）



医事課受付



防災室



変電設備点検

幕張新都心に隣接する千葉療護センター



開設・業務開始：昭和59年2月1日 [病院開設許可 昭和58年12月14日]
[病院使用許可 昭和59年1月28日]

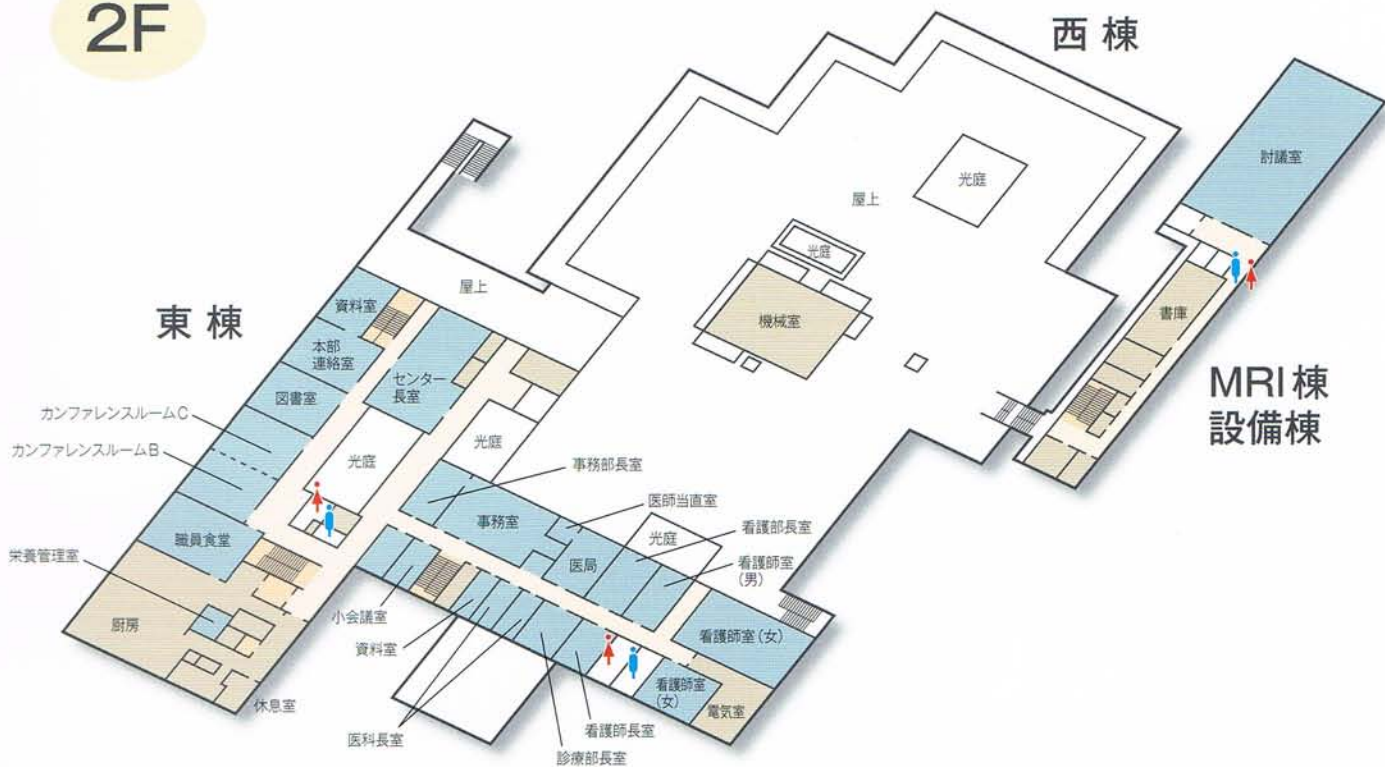
平成15年4月1日 [運営委託開始]

平成17年4月1日 [東棟開設]

診療科目：脳神経外科

病床数：80床

2F



3F



土地面積 : 8,910m² (2,700坪)

建 物 : 東棟 3,613m²

西棟 3,363m²

MRI棟・設備棟 710m²

全国に4療護センターと 療護施設機能 委託病床32床

療護センターは、独立行政法人自動車事故対策機構によって設置・運営委託され、千葉療護センターをはじめ全国に4センターが存在します。平成19年度からは北海道と九州で、一般病院の施設を利用した療護施設機能を有した病床を委託し、拡充に努めています。



① 千葉療護センター

- ・業務開始：昭和59年2月
- ・運営委託：医療法人社団 誠馨会
- ・所在地：千葉市美浜区磯辺3-30-1
TEL.043-277-0061
- ・ベッド数：80床



② 東北療護センター

- ・業務開始：平成元年8月
- ・運営委託：財団法人広南会
- ・所在地：仙台市太白区長町南4-20-6
TEL.022-247-1171
- ・ベッド数：50床



③ 岡山療護センター

- ・業務開始：平成6年2月
- ・運営委託：社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 岡山県済生会
- ・所在地：岡山市北区西古松2-8-35
TEL.086-244-7041
- ・ベッド数：50床



④ 中部療護センター

- ・業務開始：平成13年7月
- ・運営委託：社会医療法人 厚生会
- ・所在地：岐阜県美濃加茂市古井町下古井630
TEL.0574-24-2233
- ・ベッド数：50床



⑤ 北海道委託病床

- ・委託開始：平成19年12月
- ・設置病院：医療法人 医仁会 中村記念病院
TEL.011-231-8555 (内線451,460)
- ・所在地：札幌市中央区南一条西14丁目
- ・委託ベッド数：12床



⑥ 九州委託病床

- ・委託開始：平成19年12月
- ・設置病院：社会医療法人 雪ノ聖母会 聖マリア病院 (聖母病棟)
- ・所在地：福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942-35-3322 (内線6001)
- ・委託ベッド数：20床



(聖母病棟)

広域アクセス



近隣の道路地図



交通案内

電車

JR総武線「新検見川駅」またはJR京葉線「検見川浜駅」(東京駅より快速30分)下車

バス

千葉海浜交通・磯辺高校行
終点下車 徒歩1分

千葉海浜交通・千葉西高行
終点下車 徒歩3分

車

東関東自動車道／湾岸千葉ICより10分、湾岸習志野ICより10分
京葉道路／幕張ICより15分



自動車事故対策機構
千葉療護センター

〒261-0012 千葉県千葉市美浜区磯辺3丁目30番1号

TEL.043-277-0061(代)

FAX.043-277-2259

URL : <http://chiba-ryougo.jp/>

e-mail : jimu@chiba-ryougo.jp